

## 2022年度に実施したOff-campus Study Program

※実施形態：「オンライン」については学生自体はキャンパスで受講しつつオンラインを活用して学外と連携したプログラムを含みます。

※参加学生数：年度をまたがる長期プログラムについては、当該年度にプログラムを開始した人数のみを掲載しております。

※実施期間：海外渡航型の場合は海外渡航期間、オンライン型の場合はオンラインを活用した実習期間を記載しております。それぞれ基本的に前後に事前授業、事後授業を実施することで実習の準備や実習で学んだ知識、スキルの振り返りを行い、プログラムを通した学びを深めています。

	プログラム名	実施形態	参加学生数	派遣国/地域/連携先	実施期間	実施概要	学修成果の概要	成績
1	FIRST(海外)	オンライン	177	グループ毎に設定	2022年6月2日(木)～6月4日(土)	1回生がクォーター間の休暇を利用して国内外に赴き、そこで初めて出会う人々との交流や調査活動を通して、アジアの文化・社会に直接触れることが出来る短期集中プログラム。	グループ毎に設定した国・地域を対象としたアンケート調査・インタビューなどのサーチ活動をオンラインにて行い、初歩的な調査法、グループ学修での学び方を修得した。また、事後アンケートから異文化への関心、知識の高まりも示された。	2単位 (P/F)
2	FIRST(国内)	対面	21	グループ毎に設定	2022年11月24日(木)～11月27日(日)		実習期間中に遭遇した出来事や出会った日本人を通じて日本文化・社会への理解を深めることが出来た。現地では英語でのコミュニケーションが取れないため、日本語でやり取りをする必要があり、日本語運用能力が高まった。	2単位 (P/F)
3	APU GLAD	オンライン	161	Institute for Tourism Studies, Macao(中国) Budapest Business School University of Applied Sciences (ハンガリー) Hong Kong Shue Yan University (中国(香港)) Hong Kong Metropolitan University (中国(香港))	実習無し ※春 semester 第2クォーターに全14回授業を実施	PBL(プロジェクト・ベースド・ラーニング)の手法を用い、SDGsの達成に寄与するプロジェクトを多文化の仲間たちとグループワークで考えるプログラム。	APU卒業生を外部講師として招聘しプロジェクトの理解や世界市民としての知見を深め、PBL形式のグループワークを通して、世界の問題を理解し、さらに解決策を探究する能力を養った。また、異文化協働学修を経験することで異文化理解力やその他のジェネリックスキルを高められた学生が多かった。	2単位 (A+,A,B,C/F)
4	SECOND	対面	71	グループ毎に設定	2022年8月4日(木)～14日(日) 2022年8月27日(土)～9月6日(火) 2022年8月28日(日)～9月7日(水)	長期休暇期間を利用して東南アジアの複数の国に赴き、現地の人々にアンケート調査を実施することで調査手法の理解と東南アジア地域の文化理解を図る。国内学生・国際学生の混成グループで日英2言語で実施する。	必ずしも英語が通用しない地域での調査活動に苦戦しつつも、日々のグループ内ディスカッションを通して非言語面も含めた振り返りを行い現地でのコミュニケーション力の成長が見られた。また、事後アンケートでは学生の異文化への関心や挑戦意欲などで非常に強い成長が見られた。	2単位 (A+,A,B,C/F)
5		対面	31	グループ毎に設定	2023年2月27日(月)～3月9日(木)			
6	BOOST	オンライン	39		実習無し ※2022年5月～8月にかけて全56回授業を実施	IELTS対策の学習を軸にしながら、国際学生との交流学習も取り入れて、英語力を成長させ、必修英語コースの早期修了のチャンスも得られるプログラム。	英語能力の向上および一定基準以上のIELTSスコアの獲得を目指しつつ、国際学生との交流も通じて実践的な英会話力を向上させた。	計4単位 (A+,A,B,C/F)
7			42		実習無し ※2022年10月～2023年2月にかけて全56回授業を実施			
8	AP言語イマージョン(中国語)	オンライン	16	東北財経大学(中国)	2022年8月22日(月)～9月9日(金)	海外の大学や大学附属の語学学校などで、夏期・冬期休暇を利用して集中的に言語運用能力の向上を目指す。	オンラインでの実施であり、異文化理解には課題が残ったが、言語運用能力については4技能が伸びたと感じる学生が多かった。	2単位 (A+,A,B,C/F)
9	AP言語イマージョン(韓国語)	対面	50	高麗大学(韓国)	2023年2月15日(水)～3月20日(月)		集中的な言語研修を通して言語能力を向上させるとともに、歴史的・文化的背景等、言語の使用に必要な知識を得た。また、協定先大学の教員や学生との交流を通して異文化への理解を深めた。	
10	フィールド・スタディ (APS/障害と社会)	国内派遣	14	日本、大分県	2022年8月4日(木)～8月9日(火)	教員の指導のもと、各学部の専門分野に関するテーマに基づき、現場で調査・研究活動を行い、自らの興味・関心を深め、専門的な理論と実践の架け橋となるプログラム。	アジア太平洋学の枠組みにおいて、ある事象について包括的に学修し、専門性、誠実さ、共感をもち国際社会で活躍できる人材を育てることを目的とし、異なる価値観・文化を持つ他者と適切に協働することを学び、様々な事象について観察、分析、調査、議論し、組織的な解決策を講じる能力を向上させた。	2単位 (A+,A,B,C/F)
11	フィールド・スタディ (APS/持続可能な地域の価値づくり)	国内派遣	8	日本、福岡	2022年8月9日(火)～8月12日(金)			
12	フィールド・スタディ (APS/地域創生のモデル都市 北九州市フィールドスタディ)	国内派遣	7	日本、福岡県北九州市	2023年2月15日(水)～2月18日(土)			
13	フィールド・スタディ (APS/タイ地域研究プログラム：特異性を多角的に見る方法)	国内派遣	5	タイ	2023年2月19日(土)～2月25日(土)			
14	フィールド・スタディ (APS/Experiencing Media, Culture and Creative: Television, Film, Photography and Theatre In Central Europe)	海外派遣	12	オーストリア・スロバキア・チェコ	2023年2月16日(土)～3月2日(木)			
15	フィールド・スタディ (APM/企業調査研究プログラム(METI 選定企業西日本のケーススタディ))	国内派遣	19	日本、西日本	2022年9月12日(月)～9月14日(水)			
16	フィールド・スタディ (APM/企業調査研究プログラム(九州圏METI選定企業のケーススタディ))	国内派遣	15	日本、西日本	2023年2月22日(水)～2月24日(金)			
17	フィールド・スタディ (APM/Social Innovation and Entrepreneurship(SOLVE))	海外派遣	5	タイ	2023年2月15日(水)～2月21日(火)			
18	プロジェクト研究	オンライン	14	日本、新潟県	2022年9月7日(水)～9月11日(日)			
19	EXPLORE	海外派遣	25	カナダ、アイルランド、アメリカ、イングランド	8月～9月の3週間～5週間程度	長期休暇期間を利用して協定大学等有する言語教育機関において開催される集中言語学習プログラム等を受講し英語力の向上を図る。	海外での集中英語学習を経て、多くの学生は英語の4技能について力量形成が出来た。また、異文化適応能力や多角的なものの見方を得られたと感じた学生が多かった。	2単位 (A+,A,B,C/F)
20			20		2月～3月の3週間～5週間程度			
21	AGR	海外派遣	13	韓国	2023年3月12日(日)～3月18日(土)	APSの各学修分野で自らが関心を有する研究テーマについて、研究調査方法を習得するとともに、オンラインを活用して調査計画に基づいた調査を実施し、その結果を調査報告書にまとめるまでのプロセスを実践的に学修する。	研究調査手法や研究調査計画策定手法を実践的に修得し、卒業論文を含む大学での学修や、卒業後の大学院での研究や企業等での調査研究活動に活かす能力を形成した。	2単位 (A+,A,B,C/F)
22		海外派遣	14	ベトナム	2023年2月26日(日)～3月4日(土)			
23		海外派遣	11	U.K	2023年2月15日(水)～9月11日(土)			
24	日本語パートナーズ	海外渡航	4	インドネシア	2022年8月～2023年3月 ※派遣地により異なるが、上記期間の中で6か月程度	ASEAN諸国の主として中等教育機関に赴き、現地日本語教師と学習者の日本語学習の「パートナー」として、授業のアシスタントや会話の相手役といった活動をするともに教室内外での日本語・日本文化紹介活動等を行い、日本語教育を支援する。また、現地の言語や文化についての学びを深めASEAN諸国の架け橋となることを目指す。	現地教育機関での教育サポートのみならず、授業内サークルとして、授業のアシスタントや会話の相手役といった活動をするとともに教室内外での日本語・日本文化紹介活動等を行い、日本語教育を支援する。また、現地の言語や文化についての学びを深めASEAN諸国の架け橋となることを目指す。	16単位 (P/F)
25	ダブルディグリープログラム	海外派遣	8	St. Edward's University(米国)	渡航期間 約2年間	海外協定大学とAPUで2年間ずつ学び両大学の学位を取得する共同学位プログラム	2年間という長期の海外滞在を通して、世界に通ずる多角的視野・教養・思考力を身に付ける。	手続を経て留学先での取得単位をAPUの単位として認定
26			2	Salzburg University of Applied Sciences(オーストリア)				
27			16	Neoma Business School(フランス)				
28	国内交換留学	国内派遣	23	立命館大学(日本)	1 semester間もしくは1年間	APUと学生交換協定を締結している大学に派遣先大学へ学費を納入することなく半年または1年間留学し、主に各自の専門分野に応じた正規科目を履修する。	国内外の協定大学の正課科目を受講することでAPUにはない専門知識を深めることができた。	手続を経て留学先での取得単位をAPUの単位として認定
29			3	国際教養大学(日本)				
30	海外交換留学	海外派遣	165	<a href="#">海外協定大学のいづれか</a>				
31	短期サマー/ウィンタープログラム	海外派遣	17		約1～4週間(派遣先大学により異なる)			